

若年者を対象とした年金教育動画の制作

令和3年1月28日
厚生労働省年金局総務課
年金広報企画室

若年者を対象とした年金教育動画の制作

事業目的

- 若い世代に年金制度について考える機会を提供するため、学生との年金対話集会や年金広報コンテスト等の年金教育・広報活動を実施している。また、地域展開事業の中で、個々の年金事務所の創意工夫により幼稚園児や小学生等を対象とした年金を題材とした塗り絵コンテスト等を実施している。
- より多くの若年者が公的年金制度のおおまかな仕組みを理解することを目的として、
 - ・ターゲット層が手軽に楽しく学べること
 - ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、対面によらない手法によることを勘案し、若年者にとって身近なYouTube動画を活用し、広く公的年金制度を学ぶための年金教育動画を制作する。

事業概要

- 公的年金制度のおおまかな仕組みが効果的に分かる動画（概ね15分程度）を1本作成し、QuizKnockのYouTubeチャンネルに掲載するよう、株式会社batonに業務委託する。
- 動画を制作する際には、訴求対象者である若者に対して、自分に関係がある話として興味・関心を持たせるため、若年者に人気のあるクイズなどの表現方法を活用する。
- 動画は、厚生労働省及び厚生労働省が利用を許諾した者（日本年金機構、GPIF、企年連、国基連）により年金広報及び年金教育を実施するために必要な範囲で利用できる。

スケジュール

- 令和2年度末までに、QuizKnockのYouTubeチャンネルに掲載する。

2-2 令和2年度における年金制度に関する周知・広報の主な取組み

1 令和2年改正年金法の広報

■令和2年改正年金法について、特に被用者保険の適用拡大について重点的に広報コンテンツを開発し、当該改正の趣旨を正しく周知する。

ニーズ
把握

コンテンツ
作成

情報発信
PDCA
改善活動

2 個々人の年金の「見える化」の取組みの検討

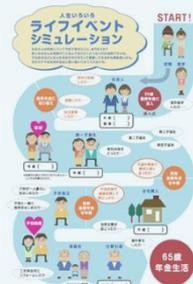
■令和2年改正年金法の趣旨をわかりやすく正確に伝え、かつ、公的年金、私的年金等を通じて個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」するための仕組みを構築するため、年金アプリ（公式）の開発を検討する。

<スウェーデン年金庁の「見える化」>



3 公的年金制度の仕組みが誰にでも容易に理解できる教材の開発

■令和2年改正年金法の趣旨や、昨今の社会・経済状況の変化に合わせ、若い世代（小中学生向け）の教育コンテンツの開発を行う。



※現在の年金教育コンテンツの例

4 国民1人1人が参加して年金制度の意義や仕組みの理解を深める広報

■ 年金広報コンテスト

次代を担う若い世代と一緒に年金について考えることを目的に「令和の年金広報コンテスト」を開催。

■ 「学生との年金対話集会」

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金について語り合うことを通じて、学生に年金の問題について考えていただくとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かしていく

